



この一般質問の映像は  
こちらから

地方創生実現について



田村 浪行

質問

地方創生実現に向け、  
若者会議の考えは

町 他自治体参考に探っていく

問 まちづくり懇談会に参加する若者が少ない現状をどう考えているか。

答 (町長) 令和元年は、まちづくり懇談会を4会場で実施。これまでも、若者や子育て世代対象で開催した年もあった。参加者が全体的に少ない傾向は、一つの課題だと考えている。

問 若者が積極的に意見を述べられる環境を充実させる考えは。

答 (総務課長) 町の将来を担う若者の考えを取入れ、町政に反映させる事は重要であると考えている。今後、気軽に参加できる意見交換会等は必要であると考えている。



町若手職員による新選組 研修の様子

問

町政の課題解決や、まちづくりに若者の意見を取り入れるため、町主催による若者会議(仮称)を実施する考えは。

答 (企画財政課長) 若手職員による新鮮組で、政策能力育成と行政の課題解決・まちづくりに対し若者の意見を取り入れていく。他自治体でも若者会議があり、実現可能か探っていく。

高齢者福祉について

質問

福祉タクシー利用対象者の拡大は

町 財政状況を考慮し検討

問 買い物困難者への対応は。

答 (保健福祉課長) 町民バス・デマンド型乗り合い交通を提供することで、移動手段の確保を行っている。なお、75歳以上の一人暮らし、75歳以上の高齢者のみの世帯に対しては、福祉タクシー券を交付している。

問 福祉タクシー券について、75歳以上の高齢者のみの世帯という限定がある。利用対象者を拡大する考えは。

答 (保健福祉課長) 財政状況を考慮し、日中に同居する若い方が不在になる高齢者の世帯に関しては、例えば同居する世帯員の就労証明書、自営者は本人の申出書等で対応している自治体もあるので、今後検討していきたい。

問

健康維持のため町有施設への移動手段確保の取り組みは。

答 (保健福祉課長) 福祉タクシー券を利用するか、町民バスでの移動が可能。

問 スクールバスは使えないか。

答 (学校教育課長) 児童生徒の通学のみであり、他の利用は考えていない。



※ほかに「指定感染症対策について」の質問もしています。